

大野ジョー報シート！

イベント	わたしたちの文化財	分類No. 歴-0001み	動画
------	-----------	---------------	----

期間 開催日		場所	大野城市下大利、太宰府市水城
-----------	--	----	----------------

タイトル

水城跡

キャッチフレーズ

当時のハイテク技術の集大成
筑紫の防衛拠点「水城跡」

リード①

天智3（西暦664）年に、福岡平野から筑紫平野へ通じる最も狭まったところに造られている長大な土塁。
復興を目指す国「倭」が九州支配の拠点である「那津の宮家」を現在の太宰府政庁跡の場所へ移し、この防衛の為に水城を築造したといわれています。

リード②

「筑紫に、大堤を築きて水を貯へしむ。名づけて水城という。」
これは日本書紀の天智3年の条に記述されています。
分かりやすく言い換えると「筑紫に大きな堤防を築いて、水を貯えさせた。水城という名をつけた。」
これが『水城』の名の由来です。
濠の全長は80mで土塁前面の博多湾側に幅60m、深さ4m前後、この濠に通水する木樋は幅1.5m、深さ0.7mであり版築工法で築かれた土塁の下に設置されていました。
県道112号線の水城3丁目交差点(東門)、大野城市下大利4丁目(西門)で2つの門を見る事ができます。
東門では門の礎石や木樋が見つかっています。
水城と同じ構造で作られている規は模の小さい小水城は、大野城市の上大利(現在の旭ヶ丘)などでも見ることができます。
千年以上も前のハイテク技術を駆使して築造された長大な土塁は、国指定特別史跡にも指定されています。



問合せ	http://www.city.onojo.fukuoka.jp/s077/030/010/030/020/2090 大野城市 教育委員会ふるさと文化財課 啓発・整備担当 電話：092-558-2206 ファクス：092-558-2207	更新日	平成30年4月
-----	--	-----	---------

一般社団法人大野城市にぎわいづくり協議会 TEL092-558-1303